

# ほのか診察室



シリーズ

第129話

## 地域包括ケア病棟の魅力

市民病院  
5階病棟  
(地域包括ケア病棟)

るよう地域包括ケア病棟10か条(左図)を掲げています。

また、当院入院患者さんには高齢者が多く、入院という環境の変化で認知症が進んでしまう可能性も少なくありません。そのため、病棟では平日の午前と午後30分間の集団レクリエーションを行い、手足の運動や頭の体操、発声練習などを実施し認知症予防も行っています。

参加している患者さんは、楽しく歌い、運動され、生活の刺激になっていきます。昼間はきちんと起きて、夜は休むというメリハリのある生活が確立できるよう集団レクリエーションへの参加を促しています。

市民病院は東三河北部医療圏の基幹病院として、地域包括ケアシステムの実現を目指し、回復期機能を担う病棟「地域包括ケア病棟」を開設しています。

例えば、急性期の治療が終了しても、自宅や介護施設への退院に向けて支援が必要な患者さんは少なくありません。患者さんが安心して退院できるよう支援することも「地域包括ケア病棟」の役割の一つです。

主治医をはじめ看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなどが協力し、患者さんやご家族の意向を確認しながら、在宅復帰に向けた相談・準備などを行います。また、生活の質の向上を目指し、患者さんに合った日常生活援助ができ

### 新城市民病院 地域包括ケア病棟10か条

1. 言葉かけと笑顔のたえない活気ある病棟作りをしよう
2. 食事はデイルームへ行き、経口摂取を推進しよう
3. 口腔ケアは毎食後実施しよう
4. オムツは極力使用しないようにし、排泄はトイレへ行こう
5. 歩ける方は車椅子を使用しないようにしよう
6. 入浴、シャワー浴は週2回以上入れるようにしよう
7. 安全対策を徹底し、可能な限り抑制はやめよう
8. 他職種と情報共有を推進しよう
9. 患者様、ご家族の意思を尊重した退院援助をしよう
10. 地域包括ケア病棟の理念を地域へ広げよう

問 市民病院 (代表) ☎ 22・2171

ほかに、在宅復帰を目指した患者さんの退院支援は、患者さんやご家族に退院後どのような生活をしたかを伺い、在宅での生活を安心して送れるよう多職種で目標を共有します。可能な限り、入院中に退院前訪問(実際に患者さんの自宅へ伺い住環境を確認すること)をし、在宅での生活で何が必要かを患者さんやご家族、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、かかりつけ医などと連携し、調整や支援をしていきます。

高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、市民病院ではこうした医療と生活を繋ぐ拠点として医療提供しています。

### お知らせ

## 「病院祭」開催決定!!

時 10月21日(日)

午前10時～午後3時

所 新城市民病院

7年ぶりに開催します。ミニ健康講座や職業体験など参加型企画を予定しています。お気軽にご参加ください。